

■洋上大学とはどういうもの？

☆兵庫県主催の(海外)研修事業

☆テーマは「こころ」

☆目的は「国際的視野を持った次代の地域リーダー育成」

- ・多くの青年と移動中や現地での生活を共にします。
- ・研修や規律ある団体生活を通じて相互啓発を行い連帯意識の高揚を図ります。
- ・諸外国を訪問します。
- ・現地青年との親密な交流やホームステイ等を行います。
- ・現地青年と相互理解と友好親善を深めます。

・応募条件：

- ①参加後、地域や職場で青少年健全育成活動等、県下でボランティア活動をする事。
 - ②事後活動を通じて次代の地域リーダーを育成すること。
 - ③兵庫県に居住もしくは通勤または通学していること。
- ※兵庫県青年洋上大学同窓会は、事後活動の場を広く提供しています。

■兵庫県青年洋上大学とは

昭和46(1971)年、地方自治体が主催する海外研修船として、全国で初めて「第1回兵庫県青年洋上大学」が実施されました。

現在は「兵庫県青年洋上大学海外養成塾」として航空機を使用して実施しています。

【使用船・機】

コーラルプリンセス(1971~1981)

新さくら丸(1982~1985)

さんふらわあ7(1982~1987)

ニューゆうとびあ(1988~1997)

おりえんとびいなす(1990~1999)

ぱしふいっくびいなす(1998~2003)

ふじ丸(2000~2009)

航空機(2011~)



■兵庫県青年洋上大学海外養成塾とは

平成23(2011)年から新しい形式の青年洋上大学として「海外養成塾」が実施されています。航空機で海外へ移動し、外国青年との交流や研修を行っています。

平成27(2015)年は20~35才の青年60名が参加しました。

■誰が運営しているの？参加費用は？

実施、運営主体は兵庫県及び(公財)兵庫県青少年本部です。

このため参加費176,000円(平成27年度)のうち半額を兵庫県が負担しています。(平成27年度の本人参加費は88,000円でした。)

また、実際の運営には、参加者OB・OG会である兵庫県青年洋上大学同窓会や県下の青少年団体からもスタッフやリーダーが加わり運営しています。

公益財団法人 兵庫県青少年本部

〒650-0011 神戸市中央区下山手通4-16-3

兵庫県民会館8F

TEL (078) 891-7410

URL <http://seishonen.or.jp>



■兵庫県青年洋上大学同窓会って？

昭和46(1971)年に「兵庫県青年洋上大学」が実施されました。

その参加者たちが研修中に学んだことを地域社会に還元し、かつ会員相互の交流をはかろうと、昭和47年5月28日に設立されたのが「兵庫県青年洋上大学同窓会」です。

会員数は約1万名。兵庫県青年洋上大学(32回)、兵庫県勤労青年洋上大学(4回)、近畿青年洋上大学(23回)、兵庫県青年洋上大学海外養成塾(3回)に参加したすべての洋大生を会員とする青年団体です。

現在も毎週火曜日に開催されている定例会をはじめ、年間を通じて会員相互の交流や様々な社会活動を行っています。

兵庫県青年洋上大学同窓会

〒650-0011 神戸市中央区下山手通4-16-3

兵庫県民会館7F

TEL (078) 891-7419

URL <http://hyogo-yodai.net>



LET'S GO Yodai !!

未来を乗せて…

GO TO DREAM !

絆

成長

未来



兵庫県青年洋上大学同窓会
平成28(2016)年作成

さあ行こう！！

海外養成塾へ！！

■ どうやって参加するの？

海外養成塾は2年に1回実施される予定です。実施される年の5月頃から7月頃にかけて、県内の大学、県関連施設等にパンフレット・申込書が置かれます。募集人員は例年80名程度です。申込書には志望動機、参加後の活動への抱負など、しっかり記入しましょう。応募多数の場合は申込書による書類選考となります。



■ どんなことをするの？

海外養成塾は海外本研修の1ヵ月前に事前研修会、本研修終了後、1ヵ月後に事後研修会があり、それにも参加が必要となります。事後研修後は学校、職場、地域などで様々な事後活動を行っています。

■ 事前研修会は何をするの？

海外養成塾へ参加が決定すると、参加者同士が初めて顔を会わせるのが1泊2日の事前研修会です。班に分かれて班のモットーや役割分担を決めて、いよいよ活動開始！訪問先の大学生との意見交換会のテーマを決めたり、交流交流会での出し物を決めて練習したり、夜遅くまで語りあいます。事前研修会から海外本研修までは班で集まってレポートを作成したり、出し物の準備、練習をしたりします。



■ 海外本研修で何をするの？

いよいよ本番！海外本研修です。本研修の内容は毎年異なりますが、近年では訪問先で日本語を学ぶ大学生との意見交換会や、お互いの国で練習した出し物を発表する交流交歓会などが実施されています。日本語を真剣に学び、もっと日本のことを知りたいと思っている訪問国の大学生の姿には感動させられます。また、日本から海外進出している企業の訪問や、現地地で起業された日本人経営者の方の講演は社会人はもとより、これから就職活動をひかえた大学生の参加者には大変良い刺激となっています。



■ 事後研修会は何をするの？

海外本研修から約1ヶ月後に事後研修会が開かれます。ここでは申込みから事前研修をへて、本研修を終わるまでに学んだことを班ごとにまとめて発表します。この発表を通して参加者同士で学んだこと、感じたことを分かちあいます。また、事後活動へ繋げるための学習も行います。



※海外養成塾（事前・事後研修含む）の内容、期間などは、実施年度により異なります。

■ 参加者の声を聴いてみよう！

2015年参加者の声から。

『絆、繋がる、未来へ』

この研修を通じて学んだことは、考えや立場が違う方々と出会うことで自分自身が成長できると共に、人生をも彩りのあるものにしてくれるのだと実感したことです。

両親の勧めから旅行感覚で参加させていただいたのですが事前研修・本研修へと進むにつれて自ら主体的に考え、行動しないと何も形に残るものにならないのだと自覚しました。研修中は学生と力を合わせて、先輩やスタッフの方々のサポートを沢山受けながら、友人達と行く旅行では味わうことの出来ない経験を肌で体感することができました。

お世話になった先輩・スタッフ、関わった方々には大変感謝しています。

そして、本研修を通じて出会った方々と今現在も別のイベントを通してつながっていることも養成塾の魅力だと思います。

パンフレットを手にとり興味を持たれた方、参加してみる価値ありです！！

3班 佐々木 志聞



『チームワークの大切さ』

過去に何度か海外に行ったことはありますが、中国(海南島)、香港は初めての訪問だったということ、また参加者は大学の海外研修のように私と同世代の子たちばかりでなく、社会人の方が多かったということもあり、事前研修で対面したときは上手く班に馴染めるかどうか不安でした。しかし、私の班の方達はとてもユニークで、面倒見が良い方が多く、すぐに溶け込め、本研修はもちろんのこと、事後研修でのプレゼン発表、事後研修後も非常にお世話になりました。

世代を超えたチームワークを育める人生にとって絶対に糧になる海外研修にあなたも参加してみませんか。

4班 森田 朱美